

Corpory: インフォーマル情報の取得に基づく企業研究支援システムの提案

古井戸 達貴* 五十嵐 悠紀†

概要. 就職活動（以下「就活」という。）において、企業とのミスマッチを防ぐためには実際に働く会社員のインフォーマル情報を収集することが必要不可欠である。そのため、近年では就活口コミサイトが多く利用されているが、企業によっては数千件と掲載される口コミを全て閲覧するのは現実的でない。そこで本稿では、就活口コミサイトの口コミを自然言語処理技術によって可視化し、就活を効果的に進めるためのインフォーマル情報取得と企業探索を支援する企業研究支援システムを提案する。

1 はじめに

新規大卒就職者の就職後3年以内の離職率は全体の約30%となっており[1]、その理由として、「仕事が自分に合わなかった」と回答した離職者が40%以上に上っている[2]。このようなミスマッチを防いで、自分自身の適性に合った就職先を見つけるためには、実際に働く会社員の考えや経験したことに関する情報を収集することが必要不可欠である。そのため、近年では就活口コミサイトが多く利用されているが[3]、企業によっては数千件と掲載される口コミを全て閲覧するのは現実的でない。

そこで本稿では就活中の大学生を対象として、就活口コミサイトに掲載されている情報を自然言語処理技術によって可視化し、就活を効果的に進めるためのインフォーマル情報の取得および企業探索を支援する企業研究支援システム「Corpory」を提案する。本稿におけるフォーマル情報およびインフォーマル情報の定義とその一例を表1に示す。就活におけるインフォーマル情報の取得支援を対象とした先行研究としては、OB・OG との間のパーソナルコネクション構築を支援するSNS[4]が挙げられるが、本稿で提案するシステムではOB・OGと接点を持たずとも企業理解が深められる点で異なっている。

表1. フォーマル情報とインフォーマル情報の定義とその一例

フォーマル情報	企業の公式HPに掲載している情報やインターネット検索で得られる定量的なデータ。（平均年収や残業時間、本社所在地など）
インフォーマル情報	口コミから得られる定性的なデータ。（社風ややりがい、福利厚生に対する所感など）

Copyright is held by the author(s). This paper is nonrefereed and non-archival. Hence it may later appear in any journals, conferences, symposia, etc.

* 明治大学

† お茶の水女子大学

2 提案システム「Corpory」

図1は実装したシステムの基本機能の一部をまとめたインタフェース図である。以下では、企業詳細ページとデータ比較機能、推薦機能、口コミ語検索機能について記述する。なお、本システムでは、2022年度の明治大学からの就職者数が7人以上かつ就活口コミサイト「キャリコネ」[5]に掲載している口コミ数が200件以上の企業30社を採用しており、各企業の解析に用いた口コミはそれぞれ200件である。また、口コミの解析には「ユーザーローカル テキストマイニングツール」[6]を利用した。本システムを開発する上では、事前に30名に調査した「就活で求める情報」のアンケート結果を元に、上位11項目が取得できるよう留意した。

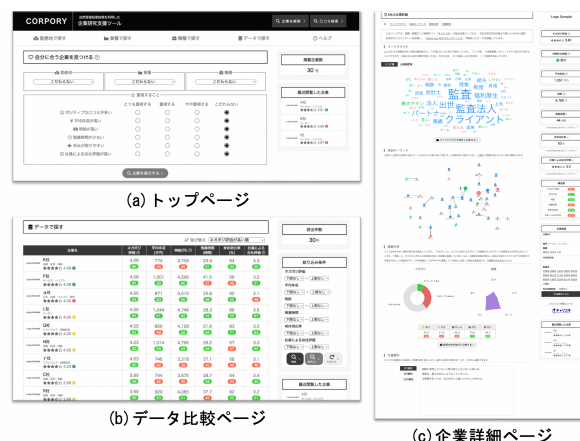


図1. 提案システムのユーザインタフェース

2.1 企業詳細ページ

企業詳細ページでは、口コミ解析で得られた特徴的な語や文章とその関係性、感情の傾向といったインフォーマル情報およびフォーマル情報を掲載した。

2.2 データ比較機能

平均年収や残業時間、有休消化率などのフォーマ

ル情報に加え、ロコミのネガティブ度合とポジティブ度合の比率から算出した「ネガポジ評価」、キャリアコネが独自に収集した「社員による自社評価」などを定量的に比較する機能を実装した。絞り込みや並び替えによって学生ユーザのニーズに合った企業探索を可能にした。

2.3 推薦機能

収集・算出したデータを基に学生ユーザのニーズに合った企業を推薦する機能を実装した。各選択項目の重視度合を4段階で選択し、その度合と各データの偏差値を考慮して企業が推薦される。

2.4 ロコミ語検索機能

キャリアコネより収集したロコミデータをデータベースに格納することでロコミ語検索機能を実装した。これにより学生ユーザは興味のあるキーワードを検索でき、そのキーワードと結び付きの強い企業を効果的に知ることが可能となる。

3 ユーザスタディ

3.1 目的

学生ユーザに対して就活における良質なインフォーマル情報の取得と企業探索が本システムによって促進されたかどうかを確認することを目的としてユーザスタディを実施した。本ユーザスタディで調査した項目は以下のとおりである。

- (a) 学生ユーザにとって、企業詳細ページで提供された情報が企業理解を深めるのに効果的かどうか。
- (b) 学生ユーザにとって、推薦機能やデータ比較機能、ロコミ語検索機能が企業探索に効果的かどうか。
- (c) OB・OG ユーザにとって、企業詳細ページで提供された情報が正しいと思うかどうか。

3.2 方法

本ユーザスタディの被験者は、都内私立大学の就活中の学生ユーザ8名、および現在本システムに登録している企業で働いているOB・OG ユーザ3名とした。ユーザにはシステムを一通り利用してもらい、その後アンケート調査を実施した。

3.3 結果

学生ユーザに対するアンケート結果を表2に、OB・OG ユーザに対するアンケートの結果を表3に示す。質問事項については、「4. たくさん見つかった」「3. 少し見つかった」「2. あまり見つからなかった」「1. 見つからなかった」の4段階評価とし、表中ではその平均値を示している。なお、それぞれの

質問項目については回答理由を自由記述する欄を設けた。

表2. 学生ユーザアンケート結果 (N=8)

質問内容	評価
(1) 推薦機能を利用して興味を持った企業は見つかりましたか?	3.00
(2) データ比較機能を利用して興味を持った企業は見つかりましたか?	3.25
(3) ロコミ語検索機能を利用して興味を持った企業は見つかりましたか?	2.875
(4) 企業詳細ページを見て、これまでの就活サイトでは知り得なかった情報を得ることができましたか?	3.875

表3. OB・OG ユーザアンケート結果 (N=3)

質問内容	評価
企業詳細ページで提示されている情報が正しいと思いますか?	3.333

3.4 考察

表3に示したOB・OG ユーザへのアンケート結果から、本システムの提示する情報は概ね正しいことが分かった。

また、表2に示した学生ユーザのアンケート結果から、企業詳細ページに関する質問で高い評価が得られた。一例として、「ワードクラウドや感情分析を見て一目で企業のイメージを掴むことができた」などといった自由回答が得られた。一方、OB・OG ユーザからは「読み取れる情報が限られているため、ユーザがミスリードしてしまうかも知れない」という意見を頂いた。これらのことから、ロコミの解析によって得られたインフォーマル情報はミスリードに注意する必要がある一方で、学生ユーザにとって一般的な就活サイトとは別の観点の情報としてメリットがあることが示唆された。

企業探索のための機能については、データ比較機能、推薦機能、ロコミ語検索機能の順に高い評価が得られた。データ比較機能については、半数の学生ユーザが最高評価を付けており、「データで絞り込みや並び替えをすることで自分の好みに合った企業が見つけた」などといった自由回答が得られた。一方、ロコミ語検索機能に関しては37.5%の学生ユーザが「あまり見つからなかった」と回答した。その主な理由として「該当するキーワードを含むロコミが見たかった」などの自由回答が得られた。これらのことから、インフォーマル情報に基づく企業探索は学生ユーザにとって有益であり、該当のロコミを閲覧できるようにすることで更に高い効果が期待できることが示唆された。

謝辞

口コミ情報を利用するにあたり、就活口コミサイト「キャリアコネ」を運営する株式会社グローバルウェイ様にご快諾いただきました。厚く御礼申し上げます。また、ユーザスタディにご協力いただいた皆様に感謝いたします。

参考文献

- [1] 新規学卒就職者の離職状況を公表します https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000177553_0004.html（閲覧日：2022年11月14日）
- [2] 特集 就労等に関する若者の意識 https://www8.cao.go.jp/youth/whitepaper/h30honpen/s0_0.html（閲覧日：2022年9月28日）
- [3] HR総研×楽天みん就：2023年卒学生就活動向調査（6月）【就職活動編】結果報告 https://www.hrpro.co.jp/research_detail.php?r_no=340（閲覧日：2022年9月28日）
- [4] 長谷部忍, 高橋咲江, 柏原昭博: インフォーマルな経験情報の共有に基づく就職活動支援 SNS の開発, 教育システム情報学会誌, Vol.27, No.2, pp. 199-210, 2010
- [5] キャリコネ <https://careerconnection.jp/>（閲覧日：2022年9月24日）
- [6] ユーザーローカル テキストマイニングツール <https://textmining.userlocal.jp/>（閲覧日：2022年9月24日）

未来ビジョン

学生が卒業後の進路を決定するために行う就活は、自身の設計したキャリアプランに基づいて、さまざまな情報を収集し、どの企業に就職するかを選択する重要な活動である。しかしながら 2020 年以降、新型コロナウイルスの流行により、従来のように対面で就活を行うことが制限されるようになった。そのため、大学の OB・OG や実際に働く会社員の話を対面して聞く機会が減り、インフォーマル情報を取得することが困難になった。学生はその代替として、インターネットを利用して情報収集を行うようになったが、さまざまな情報が溢れかえっており、どの情報をキャッチすれば良いのかが分かりづらく、企業研究が昨今の就活生の大きな悩みの一つとなっている。

このような状況を解消するためには、インターネット上に溢れるデータを分かりやすく可視化し、定量的に整理することで、就活生が企業研究を容易に行えるようにすることが重要であると推測される。

本稿では、自然言語処理技術による口コミの解析によってインフォーマル情報を可視化させることと、それに基づき企業探索のための機能を実装することで、企業理解を深めることや自分に合う企業を発見する支援をすることを目指しており、本稿はその第一歩である。今後は、より一人ひとりのユーザのニーズに寄り添い、就活で悩む学生が一步でも前に進めるよう支援していきたいと考えている。